

新興国レポート

インドが2会合連続で緊急利下げを実施

市場では更なる利下げ期待高まる

- ▶ R B I（インド準備銀行）は5月22日に開いた臨時会合で政策金利の0.4%引き下げを決定。
- ▶ 当日のインド株式（SENSEX指数）は、経済の先行き不安や、新型コロナウイルス感染者数拡大による都市封鎖延長懸念等が重荷となり、前日比下落。インド10年国債金利は、更なる利下げ期待等を材料に、リーマン・ショック以来となる水準に低下（価格上昇）。

(1) インドが緊急利下げ

- R B Iは5月22日、6月3～5日の通常会合に先立って臨時会合を開き、政策金利を0.4%引き下げ、4.00%としました。利下げは前回3月27日の緊急会合に続き2会合連続です（図表1）。同時にR B Iは、前回3月の会合で決めた企業の資金繰り支援のための銀行融資返済猶予の措置を、8月31日まで3ヵ月間延長することも決定しました。R B Iは会合後に発表した声明文で、インフレ率が物価目標である2～6%の範囲内にとどまるうちは、必要な限りで緩和的スタンスを維持することを全員一致で決めたと発表しました。
- ダスR B I総裁は会見において、今年度（2020年4月～21年3月）の経済成長率が約40年ぶりに前年比マイナスになる可能性に言及するとともに、追加利下げを示唆する発言を行いました。

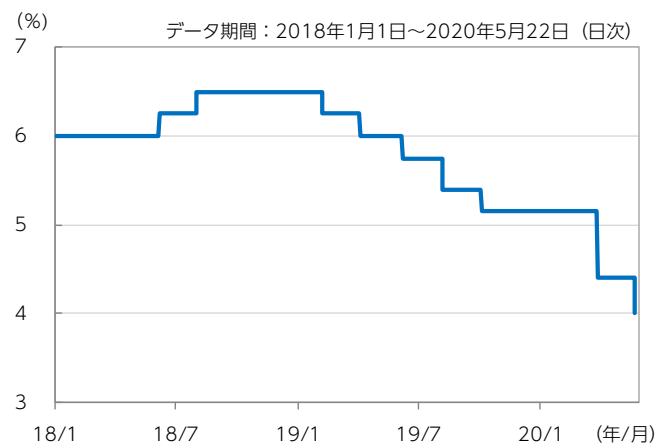
(2) 新型コロナウイルス感染者数の増加続く

- インドは3月25日に全土を対象とする都市封鎖を始めましたが、感染者数は増え続けています。当時約600人だった感染者は5月24日時点で約14万人に達し、24日の新たな感染者数は7,000人を上回りました（図表2）。都市封鎖の期限はこれまで3度延長され、現在は5月31日となっていますが、一部では更なる延長の可能性も指摘され始めています。

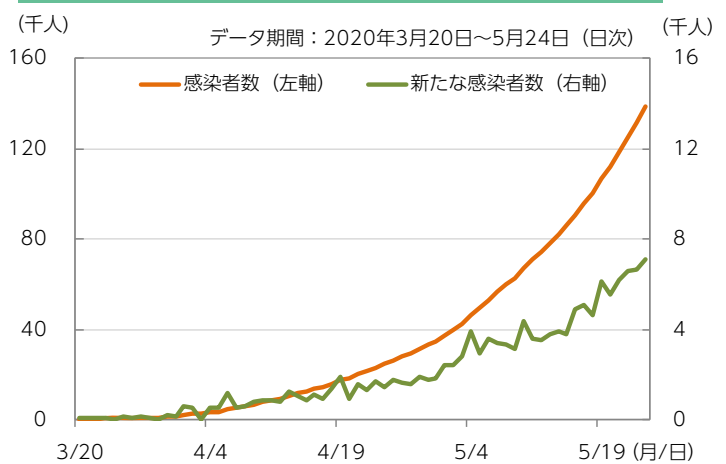
(3) インド株式やインド10年国債金利の反応

- 緊急利下げ決定当日のインド株式（SENSEX指数）は、ダス総裁が経済の先行きに慎重な見方を示したことや都市封鎖延長の可能性等が重荷となり、前日比0.8%安の30,672.59ポイントで引けました。インド10年国債金利は、ダス総裁の追加利下げを示唆する発言等を材料とした追加利下げ期待の高まりから、リーマン・ショック以来となる5.75%に低下しました（図表3）。R B Iは2021年3月末までにあと0.50～0.75%の追加利下げを行うとの見方もあるようです。

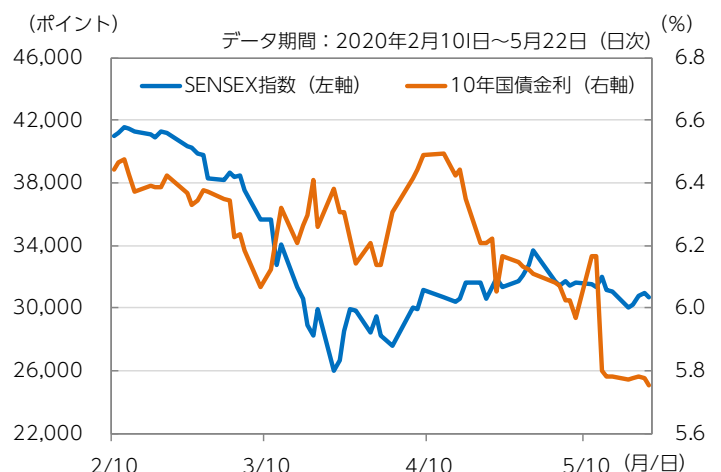
図表1：インド政策金利



図表2：インドの新型コロナウイルス感染者数



図表3：SENSEX指数とインド10年国債金利



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>